

EVE ダイヤセント プラス

【形状・構造及び原理等】

1. 形状**、**

本品には、作業部の粒度2種類〔コース(荒目)、ミディアム(中目)〕、形状HP用各3種類 CA用2種類がある。



1) 軸部の規格：ISO1797-1

軸部形式1：CA用

軸部形式4：HP用

2) 作業部の規格(mm)：

番号	粒度		コース (荒目)	ミディアム (中目)
	サイズ	色		
①	径22×長4	濃緑色	DYP-22/4g	DYP-22/4m
②	径22×長2	濃緑色	DYP-22/2g	DYP-22/2m
③	径12×長2	濃緑色	DYP-8g	DYP-8m
④	径11.5×長3	濃緑色	DYP-9g	DYP-9m
⑤	径4×長10	濃緑色	DYP-13g	DYP-13m
⑥	径5×長13	濃緑色	DYP-14g	DYP-14m
⑦	径6.5×長13	濃緑色	DYP-14Bg	DYP-14Bm
⑧	径15×長3	濃緑色	DYP-15g	DYP-15m
⑨	径3×長7.5	濃緑色	DYP-W11g	DYP-W11m
⑩	径11.5×長3	濃緑色	DYP-W9g	DYP-W9m
⑪	径4×長10	濃緑色	DYP-W13g	DYP-W13m

2. 組成

1) 軸部：金メッキステンレス鋼

2) 作業部：エポキシド、ダイヤモンド砥粒

3. 原理

配合の研削材により被研磨物を研削する。

【使用目的又は効果】**

ダイヤモンド砥粒配合の歯科用研磨材。セラミック酸化物(アルミナ、酸化ジルコニウム)の研削に用いる。

【使用方法等】*

使用方法

- 1) 本品を口腔内で使用する際は滅菌する。
- 2) 本品を歯科用電動式ハンドピース、歯科用電気エンジン、マイクロモーター及び歯科技工用高速レーズ等に取り付ける。
- 3) 被研磨物に作業部をあて回転させ、ソフトタッチで研削する。
【使用方法に関連する使用上の注意】
- 1) 口腔内で使用後、再使用する際には、清掃液、消毒剤を用いて付着物を除去した後、オートクレーブ滅菌(134°C 3分、または121°C 30分)を行う。
- 2) 再利用する際には必要に応じ、清掃液・消毒剤を用いて付着物を除去後、オートクレーブ、ケミクレーブ、乾熱またはEOGによる滅菌もしくは薬液による消毒をすること。なお、塩素系消毒剤(次亜塩素酸ナトリウムなど)や塩化ベンザルコニウム溶液、プラズマ滅菌は、錆の発生や接着剤が劣化し作業部が脱落する可能性があるため使用しないこと。また、清掃液・消毒剤・滅菌器具については、各製造業者の指示に従い正しく使用すること。
- 3) メーカーの指示に従って、シャンクをしっかりと奥まで入れてチャックを締めていることを確認する。
- 4) 使用前に予備回転させて、振れがないことを確認すること。
- 5) 破折の原因となる無理な角度、過度の加圧での使用は避けること。
- 6) ソフトタッチで使用する。
- 7) 目詰りや形状の微調整には「EVE ドレッシングツール AS10」を使用すること。

【使用上の注意】*

- 1) 指定(製品の被包に記載)の回転数を超過して使用しないこと。
- | | |
|-------|------------------|
| 推奨回転数 | 8,000~12,000 rpm |
| 最大回転数 | 25,000 rpm |
- 2) 変形、損傷(錆、表面キズ、曲がり、汚損)等のあるものは使用しないこと。
 - 3) 使用時は、目の損傷を防ぐ為に保護メガネ等を使用すること。
 - 4) 公的機関が認可した防塵マスクを使用し、粉塵を吸入しないこと。
 - 5) 排気装置を備えた環境で作業すること。
 - 6) 表示使用回転数を超過した使用は、本材が破折してけがをする恐れがあるので、過度の回転数で使用しないこと。
 - 7) 無理な角度、過度の加圧で使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】**

保管方法

- 1) 本材は高温、多湿及び、直射日光や水のかかるおそれのある場所を避けて保管すること。
- 2) 本材は室温で、外圧(物理的負荷)を受けない場所に保管すること。
- 3) 化学薬品の保管場所や、塩分やイオウ分等のガスの発生する場所を避けて保管すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者：サンデンタル株式会社
製造業者：EVE ERNST VETTER GMBH
国 名：ドイツ連邦共和国